



浜宮だより

平成24年12月号
(2012年)
NO. 337号

和歌山市立浜宮小学校

家庭は子どもの「ホット(ほっと)ステーション」

～「寒いね」と話しかければ「寒いね」と答える人のいるあたたかさ～

これは、俵万智さんの歌集『サラダ記念日』に集録されている短歌の1つです。わたしは、俵さんの数ある短歌の中で、この一首が大好きです。

寒い冬の日、「寒いね」と話しかけると「寒いね」という言葉が返ってくる…。それだけで、「わたしには、一緒に寒いと感じられ、互いを思いやる言葉がけのできる人がいるんだ。」と、ほっこり温かい心地になれるものです。

日々の生活の中で、子どもからの“～かけ”の場面がたくさんあります。例えば、この短歌のような“話しかけ”。「お母さん。今日、学校でね…」「お父さん。明日の野球の試合でぼくね…」等々。でも、家事や持ち帰り仕事をしていたり、楽しみにしているテレビを観ていたりすると、つい「後でね」、「ちょっと静かにしろよ」と、子どもにとって拒否的に感じられる言葉を返してしまうことはありませんか？俵さんも、誰かに「寒いなあ」と話しかけ、「当たり前やろう。冬やから。」(何故か和歌山弁ですが…)と返されたら、この短歌は生まれていなかったでしょう(笑)

子どもの“話しかけ”や“問いかけ”には、いろいろな気持ちが含まれていると思います。ただ聴いてほしいだけのときもあります。そういうときは「ふうん。そうだね。」と相づちをうっただけで安心した表情を浮かべます。また、既に自分で結論を出しているが、「そうやね。お母さんもそれがいいと思うよ。」というOKサインを出してほしいときもあります。もちろん深刻な相談のときもありますね。

どのときでも、子どもは、自分の一番の理解者として、親に“～かけ”をします。そのとき、子どもが“ほっとしてホットな気持ち”になれるような言葉がけをしてあげてください。

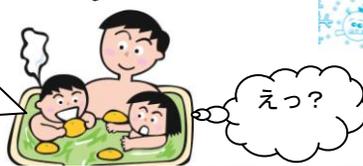
そして、子どもからの“～かけ”に対して、親からの“～かけ”をしてあげてください。

“微笑みかけ”でも“スキンシップの技かけ?”でもいいです。だって、子どもにとって、家族・家庭は、一番居心地のよい「ホット☺ステーション」なのですから…。【教頭 梅本 優子】

んん～。え～っと。
みかんやったら
食べてしまうやろ…

お父さん。
どうして冬至の日に、お風呂に柚子を入れるの？

えっ？



【12月の行事予定】

1	土	バスケット中央大会 Pコーラス練習	一斉街頭指導	12	水	クラブ活動>4.5.6年 ALT来校>5.6年
2	日	市P合唱祭(市民会館)		14	金	持久走大会(紀三井寺サブグラウンド)>午前中
3	月	学校安全の日 登校指導 安全点検ウィーク		18	火	明治乳業出前授業>4.5年
4	火	漢字博士検定 5年「ねん土工作」教室 下校指導>毎週火曜日		19	水	学力補充(5限目)>4.5.6年
5	水	委員会活動>5.6年 いじめなくそうデー 子どもセーフティガードリーダー来校		20	木	給食終了
6	木	3年「パソコン」教室 持久走練習開始		21	金	2学期終業式 児童下校>11時30分
7	金	全校集会				
8	土	暗唱大会 家庭科作品展(8日・9日開催)				
10	月	ALT来校>5.6年		23	日	天皇誕生日
11	火	部音楽会(雑賀小にて:4年出場) ALT来校>5.6年		24	月	振替休業日
				25	火	給食費引き落とし



「11月学校開放月間」に、多数ご来校いただき、ありがとうございました

ちょっとおすましの授業参観ではない普段の授業の様子を見ていただけたと存じます。また、期間中は、いろいろな専門知識をもったゲストティーチャーの方々に指導していただく機会もあり、子どもたちは意欲的に学習・活動に取り組んでいました。今回は、1年生と4年生の取り組みをご紹介します。

「あきを たのしもう」 1年生担任

11月6日(火)生活科「あきをたのしもう」の出前授業で、山脇先生が各クラスへ生花を教えに来てくださいました。秋の草花の名前を教えていただいたり、ビーズを使ったかわいいペットボトル花瓶の作り方を教えていただいたりしました。子どもたちのお礼のお手紙を紹介します。

なぐさ山までいって来て、ありがとうございます。ビーズをよういしてくれてありがとう。たのしかったです。

かびんづくりをおしえてくれてありがとうございます。



きれいにできてうれしかったです。ありがとうございました。またおしえてください。

アケビやスズメウリやカラスウリを見つけてくれてありがとうございました。

家へ持ち帰り、どこへ置こうか考え、いろいろなところへ飾った話やその後も草花を替えながら水替えもしている話等をしてくれました。おうちの人も一緒に秋を楽しんでくださった様子が伝わってきました。

教えていただいた草花や木の実を見つけて、朝の会でみんなに紹介する姿も見られています。



「1/2成人式」お話ノートより

今日、二分の一成人式でした。きんちょうしました。お父さん、お母さんにかんしゃの言葉を言うとき泣いてしまいました。感動してしまいました。

でも、気持ちを伝えられたのでよかったです。

今日、二分の一成人式がありました。自分のしょうらいのゆめを言うとき、とてもきんちょうしてつまってしまいました。足がふるえて、とてもきんちょうしました。

でも、泣かないで、つまってもさいごまで言えたので、とてもうれしかったです。

せりふを言うとき、感動しました。感動して、泣いてしまいました。それで、あまりはっきり言えなかったけど、お母さんがとってくれたビデオをみると、きちんとできていました。きちんと聞き取れていたのも、よかったです。

そして、泣いてしまったとき、まわりの友だちが「だいじょうぶ？」と聞いてくれたので、うれしかったです。

お父さん、お母さん、いつもありがとう。



ちょっぴり緊張気味の4年生の子どもたち

子どもたちは、普段は恥ずかしくてなかなか言えない感謝の気持ちを自分なりの言葉で表現していました。友達のやさしい声かけも思い出に残る「二分の一成人式」になったようです。10年後の「成人式」での子どもたちの姿が目に浮かぶようです。(4年生担任一同)